



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9763 URL <http://www.mcml-maruken.com/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清水 教博  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)猪田 忠 (TEL)03(5404)8200  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,473	1.9	395	△19.9	586	△16.6	479	△5.8
27年3月期第2四半期	9,300	4.3	494	104.5	704	57.1	509	21.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 473百万円(△16.9%) 27年3月期第2四半期 569百万円(6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	14.39	—
27年3月期第2四半期	15.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	30,351	10,502	34.6
27年3月期	31,308	10,229	32.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 10,502百万円 27年3月期 10,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	2.6	800	0.7	1,200	2.8	850	1.5	25.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	34,294,400株	27年3月期	34,294,400株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	954,859株	27年3月期	953,208株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	33,340,096株	27年3月期2Q	33,343,169株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における我が国経済は、中国をはじめとする新興国経済の減速による輸出の伸び悩みや、個人消費の落ち込みにより、景気回復に足踏みの動きが見られ、世界的な商品市況や株価の下落により、先行きが見通しにくい状況となっています。

当社グループが属する建設業界は、前年度に引き続き首都圏の大型プロジェクトや東北地方の震災復興関連事業を中心に堅調に推移したものの、新規工事案件の発注遅れや停滞が目立つようになり、当社の業績にも影響が出始めています。

このような環境のなか、当連結会計年度は中期経営計画の最終年度となりますが、「貸貸重視の営業力強化」をはじめとする重点施策に取り組み、安定的な収益確保に努めました。国内では、鋼材の販売は減少しましたが、貸貸稼働量、貸貸単価ともに前期比較で改善傾向が続いています。海外では、タイ国が政情不安からの経済回復が遅れており、タイ丸建株式会社の業績に影響が出ています。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高94億73百万円（前年同期比1億73百万円、1.9%増）、営業利益3億95百万円（同98百万円、19.9%減）、経常利益5億86百万円（同1億17百万円、16.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億79百万円（同29百万円、5.8%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ①重仮設事業

首都圏や東北地方を中心に貸貸稼働量が増加したため、売上高は73億61百万円（前年同期比83百万円、1.1%増）となりましたが、売却案件の利益が減少したため、セグメント利益は6億54百万円（同1億36百万円、17.3%減）となりました。

## ②重仮設工事業

売上高は一部工事案件の遅延・着工遅れにより12億62百万円（同41百万円、3.2%減）となりましたが、セグメント利益は利益率の高い工事案件が進捗したため48百万円（同21百万円、80.9%増）となりました。

## ③土木・上下水道施設工事等事業

官庁・民間工事ともに堅調に推移したため、売上高は8億51百万円（同1億29百万円、17.9%増）、セグメント利益は36百万円（同14百万円、62.9%増）となりました。

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、建設機材の減少5億85百万円や受取手形及び売掛金の減少3億51百万円などにより、前期末比9億57百万円減の303億51百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少6億42百万円や借入金の減少2億45百万円などにより、前期末比12億30百万円減の198億48百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益4億79百万円の計上による増加と配当金2億円の支払による減少により、差引前期末比2億73百万円増の105億2百万円となり、自己資本比率は1.9ポイント増の34.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、6億67百万円（前年同四半期は1億37百万円の資金の使用）となりました。これは、たな卸資産の減少6億46百万円や税金等調整前四半期純利益5億86百万円などによる資金の増加額が、仕入債務の減少6億42百万円などによる資金の減少額を上回ったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、1億69百万円（前年同四半期比1億13百万円増）となりました。これは、工場設備更新投資等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、4億77百万円（前年同四半期は59百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済によるものであります。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は、前期末比19百万円増の12億64百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成27年5月8日公表の平成28年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,244	1,264
受取手形及び売掛金	7,620	7,268
建設機材	9,831	9,246
商品	65	59
材料貯蔵品	299	297
未成工事支出金	162	108
その他	399	257
貸倒引当金	△79	△29
流動資産合計	19,546	18,472
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,042	8,042
その他(純額)	1,118	1,142
有形固定資産合計	9,161	9,184
無形固定資産	12	11
投資その他の資産		
その他	2,659	2,750
貸倒引当金	△70	△68
投資その他の資産合計	2,589	2,682
固定資産合計	11,762	11,878
資産合計	31,308	30,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,455	5,813
短期借入金	6,755	7,120
未払法人税等	69	140
引当金	34	33
その他	1,943	1,599
流動負債合計	15,258	14,706
固定負債		
長期借入金	4,510	3,900
退職給付に係る負債	138	97
その他	1,172	1,144
固定負債合計	5,821	5,141
負債合計	21,079	19,848
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	4,574	4,854
自己株式	△134	△134
株主資本合計	8,016	8,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	237	247
土地再評価差額金	1,922	1,924
為替換算調整勘定	12	0
退職給付に係る調整累計額	39	33
その他の包括利益累計額合計	2,212	2,206
純資産合計	10,229	10,502
負債純資産合計	31,308	30,351



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,300	9,473
売上原価	7,773	8,039
売上総利益	1,526	1,434
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	556	575
福利厚生費	101	108
地代家賃	86	84
退職給付費用	35	13
その他	252	255
販売費及び一般管理費合計	1,032	1,038
営業利益	494	395
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	14
持分法による投資利益	157	142
貸倒引当金戻入額	60	51
その他	31	26
営業外収益合計	256	235
営業外費用		
支払利息	38	35
その他	7	8
営業外費用合計	46	44
経常利益	704	586
税金等調整前四半期純利益	704	586
法人税、住民税及び事業税	52	116
法人税等調整額	142	△9
法人税等合計	194	107
四半期純利益	509	479
親会社株主に帰属する四半期純利益	509	479

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	509	479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	9
土地再評価差額金	-	2
退職給付に係る調整額	15	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	△18
その他の包括利益合計	60	△6
四半期包括利益	569	473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	569	473

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	704	586
減価償却費	87	93
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19	△40
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△61	△51
受取利息及び受取配当金	△7	△14
支払利息	38	35
持分法による投資損益(△は益)	△157	△142
売上債権の増減額(△は増加)	399	351
たな卸資産の増減額(△は増加)	△220	646
その他の流動資産の増減額(△は増加)	28	135
その他の固定資産の増減額(△は増加)	11	22
仕入債務の増減額(△は減少)	△979	△642
未払消費税等の増減額(△は減少)	55	△17
引当金の増減額(△は減少)	1	△0
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△27	△300
その他	△3	5
小計	△150	668
利息及び配当金の受取額	82	84
利息の支払額	△40	△36
法人税等の支払額	△29	△48
営業活動によるキャッシュ・フロー	△137	667
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△0	△49
投資有価証券の売却による収入	0	-
有形固定資産の取得による支出	△50	△116
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△2	△2
その他	△4	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56	△169
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	40	200
長期借入れによる収入	1,340	300
長期借入金の返済による支出	△1,156	△745
リース債務の返済による支出	△30	△33
配当金の支払額	△132	△199
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	59	△477
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△134	19
現金及び現金同等物の期首残高	1,416	1,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,281	1,264

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,274	1,303	721	9,300	—	9,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	—	3	△3	—
計	7,277	1,303	721	9,303	△3	9,300
セグメント利益	791	26	22	840	△346	494

(注) 1 セグメント利益の調整額△346百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,360	1,262	850	9,473	—	9,473
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	△0	—
計	7,361	1,262	851	9,474	△0	9,473
セグメント利益	654	48	36	739	△343	395

(注) 1 セグメント利益の調整額△343百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。